

小城製薬原料供給停止が引き起こす 配置薬の納入停止

(一社) 日本置き薬協会

筆者が代表取締役を務める配置販社は永年、二社の100mlドリンク剤を取り扱ってきたが、ほぼ同時期に両社より製造中止の通知が入り、後継の製品を検討していた。それがほぼ決まり、新たに導入する製品の切換え時期と顧客や社内へ対応を計画していた矢先、そのメーカーより納入が出来なくなりそうとの一報が9月中旬に入った。その理由は配合されている生薬製剤「トウキエキス」の小城製薬からの納入停止。この時点では、小城製薬や京都府薬務課、厚生労働省の動向が不明で、所謂様子見だったが、10月中旬でも納入再開が不明で、そのメーカーは当社に同社の代替品を提案してきている。

同様な例として、小城製薬供給の「オウヒエキス」を配合した総合感冒薬を製造する配置薬メーカーがある。同社を取材した業界紙薬日新聞の記事には「医薬品原料の入手が困難で製品の製造ができず、同社の原料を使用していたかぜ薬などの当該製品は、現状では在庫の医薬品原料・原薬がなくなり次第に終売とせざるを得ない可能性が極めて高い」とメーカーの対応を伝え、「相次ぐ製薬会社の不祥事による取扱い製品の終売が続くことに、取扱い配置販売業者は落胆を隠せない」としている。

●上記ドリンク剤成分・分量（一日量）

ベンフォチアミン 10mg、ビタミンB2 12mg、ビタミンB6 50mg、ニコチン酸アミド 60mg、無水カフェイン 50mg、ジクロロ酢酸イソプロピルアミン 10mg、タウリン 3,000mg、ケイヒ流エキス 0.1ml、
トウキ流エキス 0.1ml

●上記総合感冒薬成分・分量（一日量）

アセトアミノフェン 770mg、d-クロルフェニラミンマレイン酸塩 3.5mg、デキストロメトルファン臭素水素酸水和物 48mg、dl-メチルエフェドリン塩酸塩 60mg、無水カフェイン 75mg、ビスベンチアミン 10mg、リボフラビン 6mg、ゴオウ 3mg、地竜エキス散 210mg、ケイヒ末 150mg、
オウヒエキス 40mg